

小諸市事業シート（概要説明書）				整理番号	5
事業名	記念木配布事業				
担当部名	建設部	担当課名	都市計画課	作成責任者	春原 信行
事業実施年度	昭和48年度～				
根拠法令	なし				
実施方法 (該当するものすべてにチェック)	直接実施				
	業務委託又は指定管理（平成22年度より一部業務委託）				
	補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）				
	貸付（貸付先： ） その他（ ）				
事業概要					
目的 (何のために)	一人ひとりの緑に対する意識の高揚 市の木である「梅」の普及とPR				
対象 (誰を対象に)	前年度に結婚、出生、新築、当年度に小学校入学した市民				
事業内容 (手段、手法など)	<p>婚姻届、出生届、建築確認申請の際に引換券を配布し、次年度4月に苗木を配布する。 (平成22年度は、小梅・花梅・豊後梅・エゴノキ・ヤマボウシ・ナンテンの6種類)</p> <p>小学校・養護学校入学者には入学式の際、市の木である「梅」の苗木を配布している。</p> <p>平成22年度からは引換業務をNPO法人こもろの杜に委託し、駐車場ガーデンにおいて実施している。</p>				
事業の必要性	市民一人ひとりが苗木を植栽・管理することで、市内の景観の向上や緑化が図られ、個々の景観や環境に対する意識の高揚も図られる。また、市民の記念となる時に苗木を植栽することで、その木が人生の大切な思い出となる。以上のことから、事業の必要性は高く、市民にも定着した事業となっている。				
コスト	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (予算額)	
決算額(千円) A	195	191	195	284	
内一般財源(千円)	195	191	195	予算額の財源内訳 (千円)	
人件費 (千円)	担当職員(人) B	0.01	0.01	0.01	国庫支出金 千円
	担当職員経費 C = B * 平均人件費	103	101	103	地方債 千円
	臨時職員(人)				その他 千円
	臨時職員経費 D				一般財源 284千円
事業費計(千円) E = A + C + D	298	292	298	補助事業名	
平成21年度 決算額内訳	(歳出) 報償費		(歳入) 195千円		

事業実績	項 目	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	苗木購入数	本	720	700	728
	苗木受取者数	人	656	603	657
単位当たりコスト (事業費/事業実績)	項 目	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	事業費/苗木受取者数	円	453.84	484.66	453.15
成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	<p>【現状の成果】</p> <p>配布時の聞き取り等から、記念木を大切に育てていることや記念木の配布を機会に周辺緑化にも取り組んでいるなどのことから、良好な景観づくりや個々の景観形成意識の高揚が図られている。</p> <p>また、小学校入学時の梅の配布は梅花教育や市の木のPRには大きな効果がある。平成22年度においては、対象者数1,112人のところ、578人が受取り、率としては51.97%であるため、今後は受取率の向上を図っていきたい。</p> <p>【成果目標】</p> <p>苗木の受取者数については、新築住宅の減・少子化による小学校入学者数の減など、今後、減少していくものと考えられる。については、今後の成果目標として、例年約50%となっている受取率の向上を目指したい。</p>				
自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>平成22年度から苗木の配布を、小諸駅隣接の駐車場ガーデンで指定管理者であるNPO法人へ委託した。このことで、駐車場ガーデンへ訪れる市民が増えたり、市民が苗の管理等の専門的なアドバイスを直接受けられることから、好評をいただいているので、今後も委託を継続していきたい。</p> <p>課題は、配布後どのように管理されているか不明である点。</p> <p>梅以外の苗木も検討し、平成22年度は6種類を配布したが梅の人気の高いようであった。小諸市は本年9月より景観行政団体となり、平成23年4月1日からは市景観条例に基づき、建築等への規制が開始となる。良好な景観形成のためには規制するだけではなく、市民の意識高揚、自発的な景観づくりが重要である。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>長野県内19市中、9市がこの事業を実施している。</p> <p>対象は、出生・入学・結婚・新築で、小諸市の対象範囲とほぼ同様である。</p>				
特記事項 (事業の沿革等)					